

実践記録

183

シリーズ

人と人をつなぐ「しんせき夢マップ」づくり

新潟市新津地区公民館

* 新関コミ協と新津地区公民館

新潟市秋葉区の新関（しんせき）地区は、隣は五泉市という位置にあり、10の町内におよそ400の世帯、約1,500人の人が住んでいます。この地区は少子高齢化の進行による地域の活力低下を防ぎ、活性化を図ることが地域の課題となっていました。

そんな中、新潟市の公民館では「地域を元気にする」ということを主旨とした“公民館改革宣言”をしました（平成22年9月）。新潟市の公民館はその宣言を踏まえ、これまで以上に地域に根差した活動を行っており、その一環として新津地区公民館では地域活性化のため新関コミュニティ協議会との協働事業（地域コミュニティ活動活性化支援事業）を、平成23年度からの三カ年事業として進めています。

** オリジナル応援歌の誕生

地元の新関コミュニティ協議会は地域が地盤沈下しているという危機感を抱いていました。そこで、地域のテーマを「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」に設定することから活動を始めることとしました。活動の最初として、地域の魅力を再発見し、住民の一体感を高めるため「ふるさと新関」を振り付けつきで作りました。この「ふるさと新関」は地元の人たちでつくったオリジナルの歌と振り付けです。ちなみにCDも製作し、販売も行っています。（新関コミュニティセンターにて1枚1,000円で販売中。）



【写真1：ふるさと新関完成発表会】

*** 「新関ふるさと講演会」

歌と踊りの次は、自らの地域を知り、それを地域内外へ伝えていくため、ふるさと新関を紹介する「マップ」の製作を行うこととなりましたが、まずは、自分の足元を知ることから始めようということで、地域の人・ものにこだわった構成で地元が持つ魅力を再発見する場としての「新関ふるさと講演会」を開催しました。当日は『講師から豊かな自然に囲ま

れた魅力をアピールするべく「しんせき八景」を定めてはどうか』という提案もいただき、マップに「しんせき八景」を掲載することになりました。



【写真2：新関ふるさと講演会】

*** 「しんせき夢マップ」の完成

マップ製作にあたり、まずは各町内を巡って、町内のことをよく知る人からお話を伺う作業をスタートしました。どの町内でも最初こそ「何もよそに誇れることはないねえ～」と謙遜していましたが、歴史・風習・人物など多方面にわたる分野で話を進めてゆくと、徐々に話が盛り上がり、数多くの地域のお宝となりそうな素材が集まりました。また、この作業では地域にゆかりのある人や地域をよく知る人の発見があり、マップの製作を通じて人と人のつながりができました。

その後は集まった地域のお宝を実際にマップの製作メンバーで巡り、検証することとしました。自分たちの足で一つ一つ巡ってみると、自分の地域に驚き、感動させられることが沢山あり、あらためて「地域とは何か」を考えさせられました。

こうして編集会議や現地探索を繰り返し、今年（平成25年）3月に完成したマップが「しんせき夢マップ」です。

マップの製作をはじめとするこれらの事業は、自らの地域を知ること、その良さを発見し、それを地域内外へ伝えるとともに、地域の活性化にもつなげていこうと取り組んできたものですが、事業の最終年度である今年度は、マップなどをいかに活用していくかを地域とともに考え、さらなる地域の活性化、次世代への継承につなげていければと考えます。

（文責・佐藤武晴）



【写真3：しんせき夢マップ】